

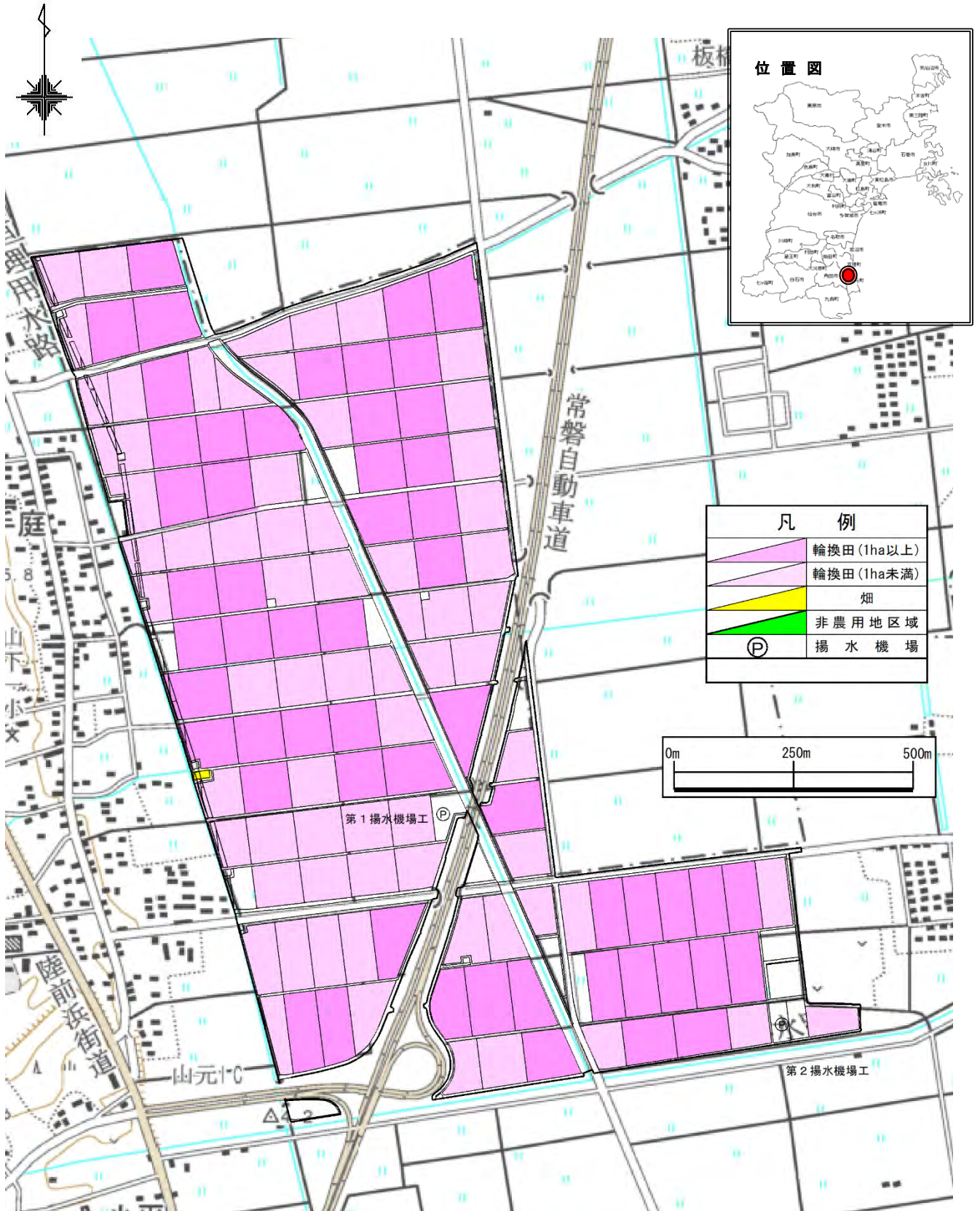
農山漁村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）

山元北部地区



本地区は、亘理郡山元町の北部、常磐自動車道山元 I.C 近くに広がる水田地帯です。東日本大震災の津波で浸水し、農地の塩害、ヘドロ等の堆積に加え、地盤沈下が発生し、用排水施設の再編が求められるなど、復興への課題がありました。これらの課題を解消し、地域農業の復興を図るため、災害復旧事業と併せて、平成 25 年度から交付金事業による区画整備工事を行いました。基盤の整備を契機に、農業の担い手に農地が面的に集約し、経営の大規模化・高付加価値化が図られ、農地の有効利用や生産性が向上しており、山元町が震災復興計画に掲げる「集落営農組織の設立や育成支援、農地の再生と優良農地の集約化」の実現に貢献しました。

山元北部地区計画一般平面図



承認番号 平 27 情使、第 49-GISMAP34854 号

1. 事業実施内容

I. 実施概要

事業名	農山漁村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）
地区名（所在地）	山元北部地区（山元町）
事業主体	宮城県
関係土地改良区	亘理土地改良区
受益面積／地区面積	122.1ha／144.2ha
総事業費	2,762百万円
事業期間	平成25年度～令和4年度

II. 主要工事内容

工 種	数 量	事 業 内 容
区画整理工	122.1ha	水田 A=122.0ha、畑地 A=0.1ha
用水路工	14,732m	パイプライン(塩ビ管φ150～500)
揚水機場工	2か所	渦巻ポンプ（φ200mm～300mm）計4機
排水路工	11,526m	小排水路(HF H500～700×B500～1200) 承水路（HF H300×B300）
道路工	10,744m	支線道路B=5.0m、耕作道路B=4.0m
暗渠排水工	122.0ha	FOEASシステム

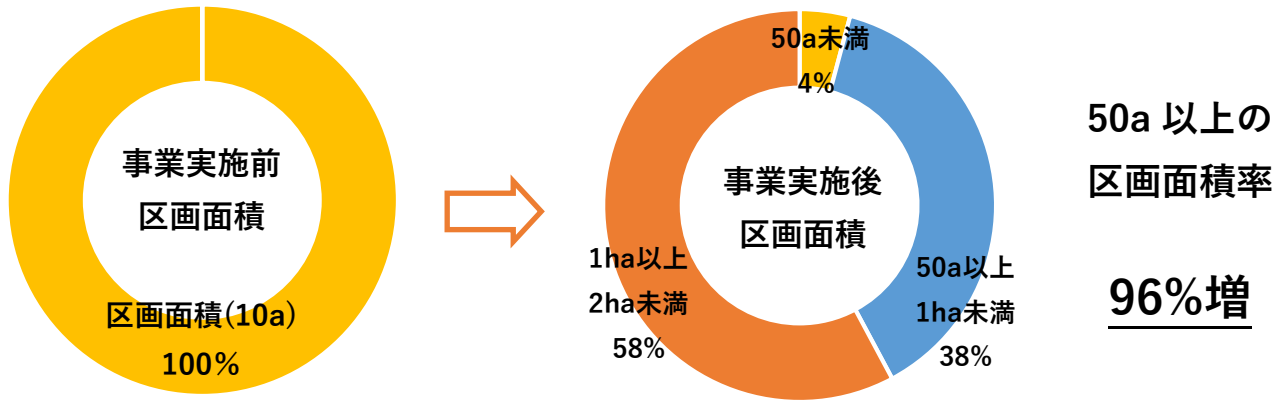
III. 年度別事業費・営農再開状況

項 目	合 計	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2	R3	R4
測量設計	一式											
区画整理	122.1ha			35.7ha	86.4ha							
付帯工事	一式											
換地	一式											
営農再開	122.1ha				35.7ha	86.4ha						
事業費 (百万円)	2,762	284	563	1,322	302	80	44	42	125			

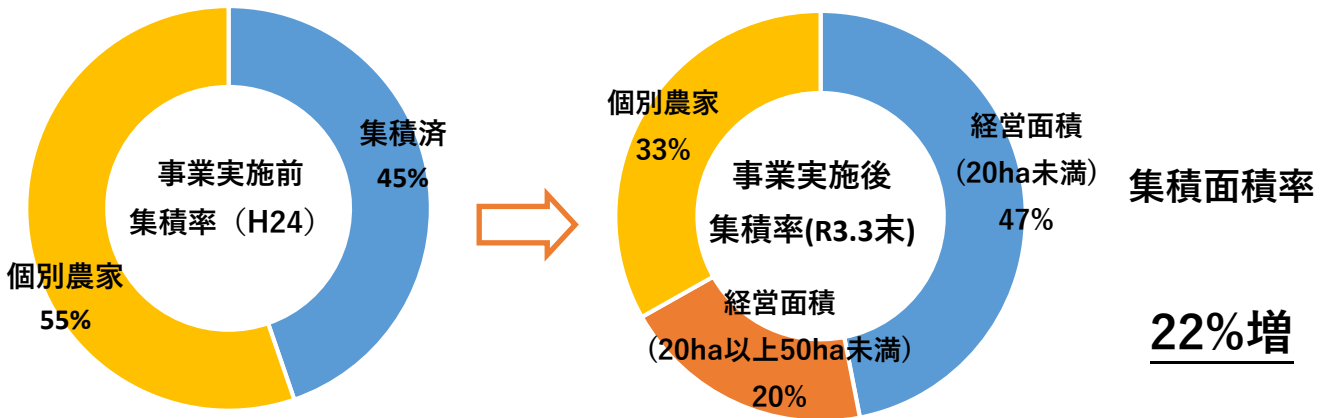
※R3、R4 は繰越予算により実施

2.大区画化と農地集積

I.農地（水田）の大区画化



II.農地集積状況



III.東日本大震災後に設立された農業生産法人

グリーンキューブ株式会社、株式会社天恵アグリ、有限会社黄金ファーム

3.担い手の声

有限会社 黄金ファーム代表 庄司 兵三郎氏

山元町の北、国道6号沿いの亙理町と接している地域で営農しています。

この地域は、津波でガレキ等が農地に被さり、田んぼの表土も持って行かれてしまい営農を続けるのは無理かなとの思いもありました。

ガレキを取った後に農地の復旧と合わせてほ場整備されたおかげで、区画も大きくなって農作業は楽になりました。もともと地盤の軟弱な地域でしたが、ほ場整備で暗渠排水を入れてもらったりして排水がずいぶんと良くなって、効率が格段に上がっています。

震災後の状況を見ると、ここまで回復するとは思っていませんでした。うちの会社（黄金ファーム）は、山元北部地区に加えて亙理地区と山元東部地区でも水稻の作付けをしていて、合わせると約85haにもなります。ほ場整備で集積も進んでおり、この地域を代表する法人としてこれからもがんばって行きたいと考えています。

また、これからの目標として、品質の向上を図りながら法人としての経営改善や効率化を図ってGAP認証の取得を目指します。





4.工夫・苦労したところ

- ①地区内に軟弱地盤や砂地盤に由来する「ぬかり」や「ささり」、畦畔・溝畔の崩れが発生し、対応に苦慮した。
- ②津波によって水田の表土が流失したため、山土の搬入により農地の復旧を進めたが、営農再開初期は地力が弱く、うまく生育しないほ場もあった。
- ③酸性硫酸塩土壌に由来する生育障害が発生し、炭酸カルシウム散布等の対応を行った。
- ④常磐自動車道の拡幅工事で施工時期が重複し、工事用地の協力等を行いながら、工事を進めた。



軟弱地盤状況

5.写真

I. 被災状況・着手前



被災状況

(平成 23 年 3 月)



被災状況※

(平成 23 年 3 月 12 日)

II. 復興状況



営農再開

(平成 28 年 9 月)



完成

(平成 28 年 3 月)

※出典：国土地理院 (<https://www.gsi.go.jp/top.html>) 撮影空中写真を加工

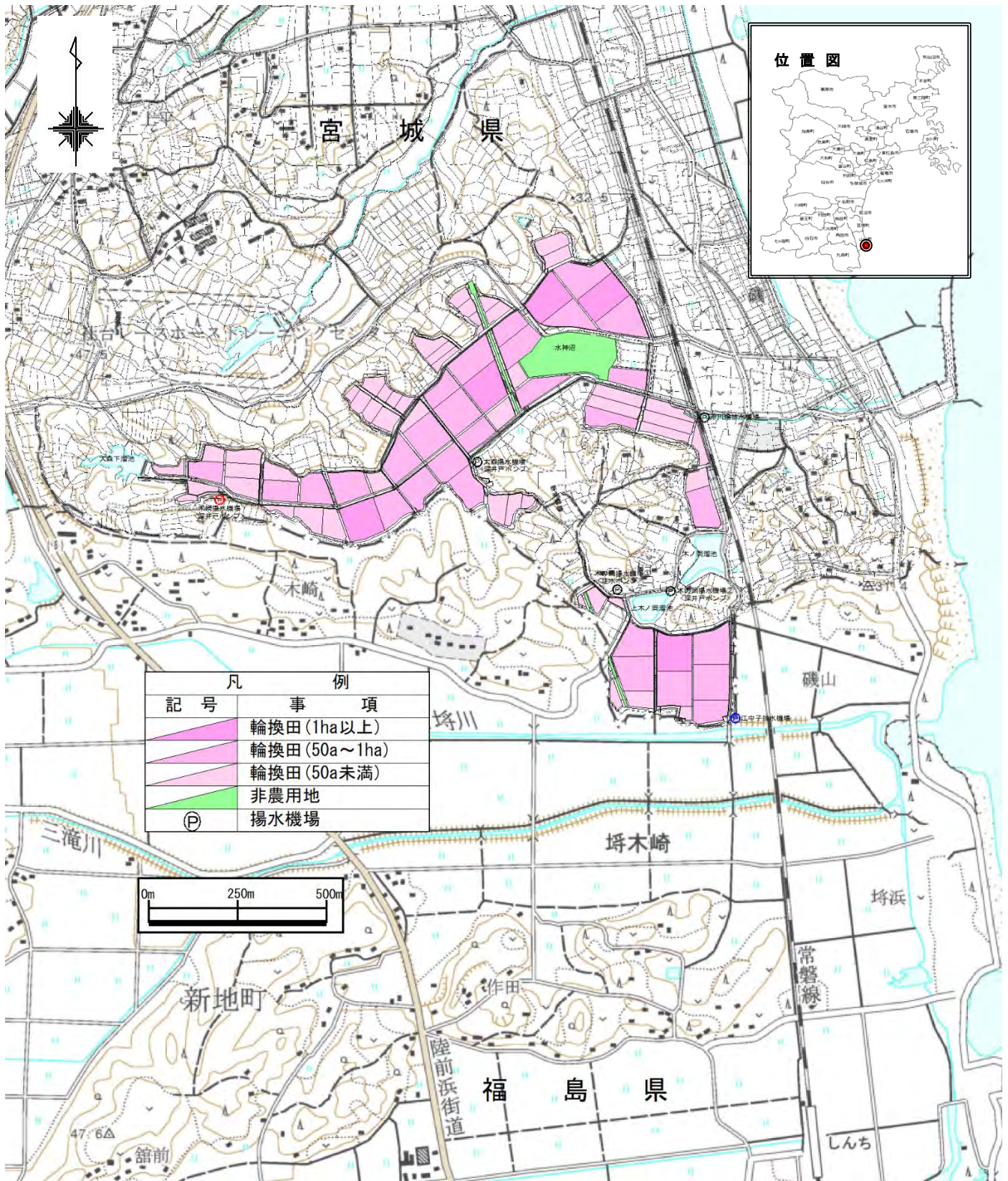
農山漁村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）

磯 地 区



本地区は、亶理郡山元町の南東部、福島県との県境に位置する水田地帯です。東日本大震災の津波で浸水し、人的被害とともに、家屋の流失、農地の塩害、ヘドロ等の堆積に加え、農機具、共同利用施設等が被害を受け、営農が困難になりました。また、0.3～0.4mの地盤沈下が発生し、用排水施設の再編が求められるなど、復興への課題がありました。これらの課題を解消し、地域農業の復興を図るため、災害復旧事業と併せて、平成25年度から交付金事業による区画整備工事を行いました。基盤の整備を契機に、農業の担い手に農地が面的に集約し、経営の大規模化・高付加価値化が図られ、農地の有効利用や生産性が向上しており、山元町が震災復興計画に掲げる「集落営農組織の設立や育成支援、農地の再生と優良農地の集約化」の実現に貢献しました。

磯地区計画一般平面図



承認番号 平 27 情使、第 49-GISMAP34854 号

1. 事業実施内容

I. 実施概要

事業名	農山漁村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）
地区名（所在地）	磯地区（山元町）
事業主体	宮城県
関係土地改良区	亘理土地改良区
受益面積／地区面積	40.0ha／55.1ha
総事業費	1,972百万円
事業期間	平成25年度～令和3年度

II. 主要工事内容

工 種	数 量	事 業 内 容
区画整理工	40.0ha	水田 A=40.0ha
用水路工	10,456m	開水路（BF 300～600） パイプライン（塩ビ管φ125～250）
揚水機場工	3か所	水中ポンプ（φ100mm N=2機） 渦巻ポンプ（φ300mm N=1機）
排水路工	10,518m	支線排水路（HF H500～1400×B500～2200） 小排水路（HF H300～600×B300～800）、承水路（HF H400～500×B400～500）
道路工	6,258m	支線道路 B=5.0m
暗渠排水工	40.0ha	
客土工	18.6ha	

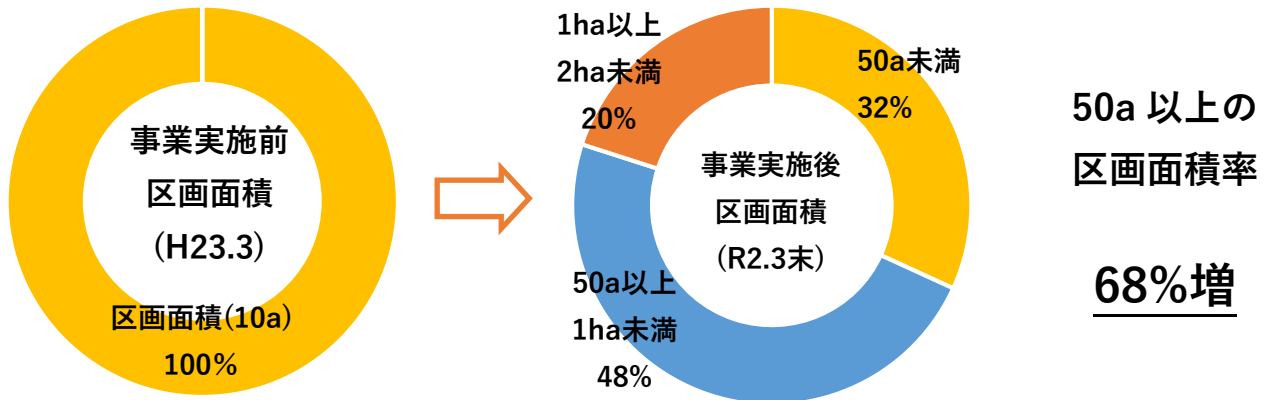
III. 年度別事業費・営農再開状況

項 目	合 計	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2	R3
測量設計	一式										
区画整理	40ha			40ha							
付帯工事	一式										
換地	一式										
営農再開	40ha					40ha					
事業費 （百万円）	1,972 百万円		265	380	549	416	229	62	36	35	

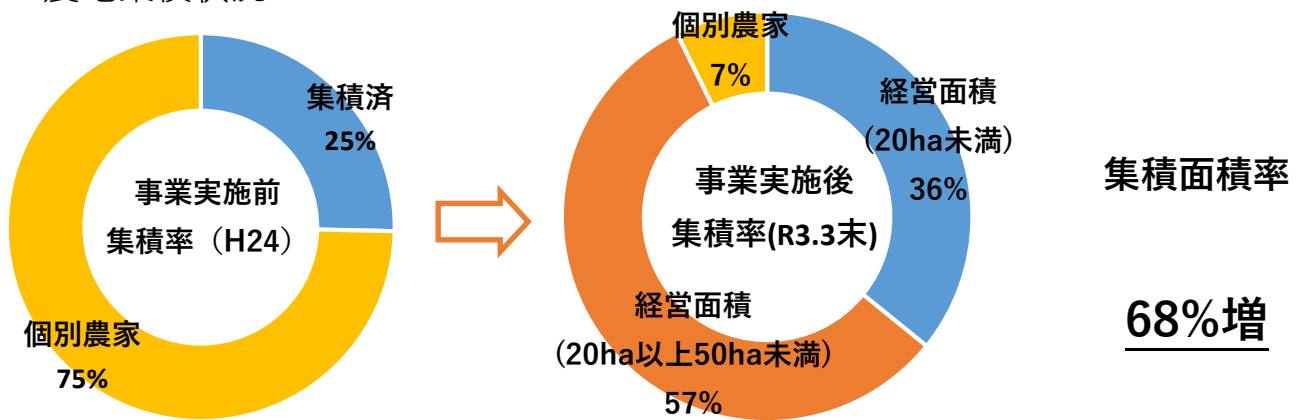
※R3 は繰越予算により実施

2. 大区画化と農地集積

I. 農地（水田）の大区画化



II. 農地集積状況



III. 東日本大震災後に設立された農業生産法人

グリーンキューブ株式会社

3. 担い手の声

農業生産法人 MS 間野目氏

山元町の南部にある磯地区で営農している。今回のほ場整備のおかげで農作業が格段に楽になり、ほ場が整形されたことによって農作業の効率が格段に上がり、コスト低減にも効果があった。

今回のほ場整備は私たちの地元である磯地区が今後持続、発展していくことができるようにするための取り組みを考える良い機会となった。磯地区のための取り組みの一環として私たちの世代以降も営農が続くよう、地域内だけでなく地域の外からの人も集めて農業法人の設立を行った。

営農は水管理など大変な作業も多いので、農作業が楽になれば担い手がより働きやすくてできるだろうと、密苗での2台による作付け、農業用ドローンの導入による除草、追肥の管理、粃ホッパーの活用方法を工夫し、刈り取り作業時のダンプ搬送時の短縮化を図るなど様々な農作業のコスト低減の取り組みを行っている。

ただし、私たちだけでは手が届かないこともある。まだ磯地区には未整形の水田が数カ所あり、今後の磯地区を考えると、ほ場整備による水田の集約がもっと進み、農作業の効率がもっと上がって、地元の担い手がもっと働きやすい環境になってもらえたらと思う。これからの目標として、品質の向上を図りながら法人としての経営改善や効率化を図って GAP 認証の取得を目指します。



4.工夫・苦勞したところ

- ①谷筋の地形のため、湧水が多く処理に苦勞した。
- ②高低差が大きい地形であり、施工が難しい面があった。
- ③地区の用水が、ため池や井戸水に依存しており、用水確保のために井戸を設置したが、近傍の井戸の水位に影響が出るなど、対応に苦勞した。
- ④地区に隣接するため池の整備にかかる調整に時間を要した。



湧水による軟弱地盤

5.写真

I. 被災状況・着手前

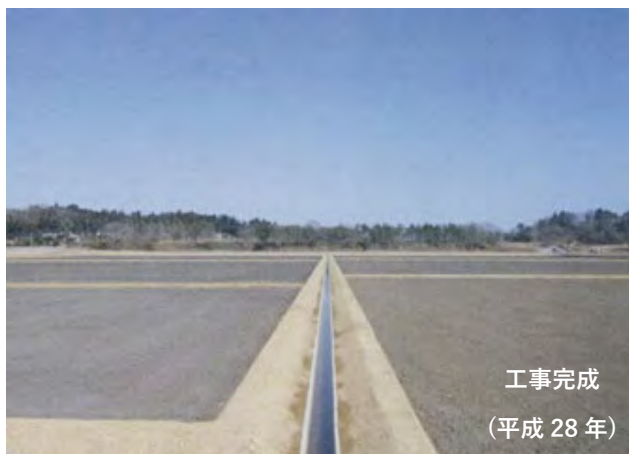


被災状況
(平成 23 年 3 月)



被災状況
(平成 23 年 5 月)※

II. 復興状況



工事完成
(平成 28 年)

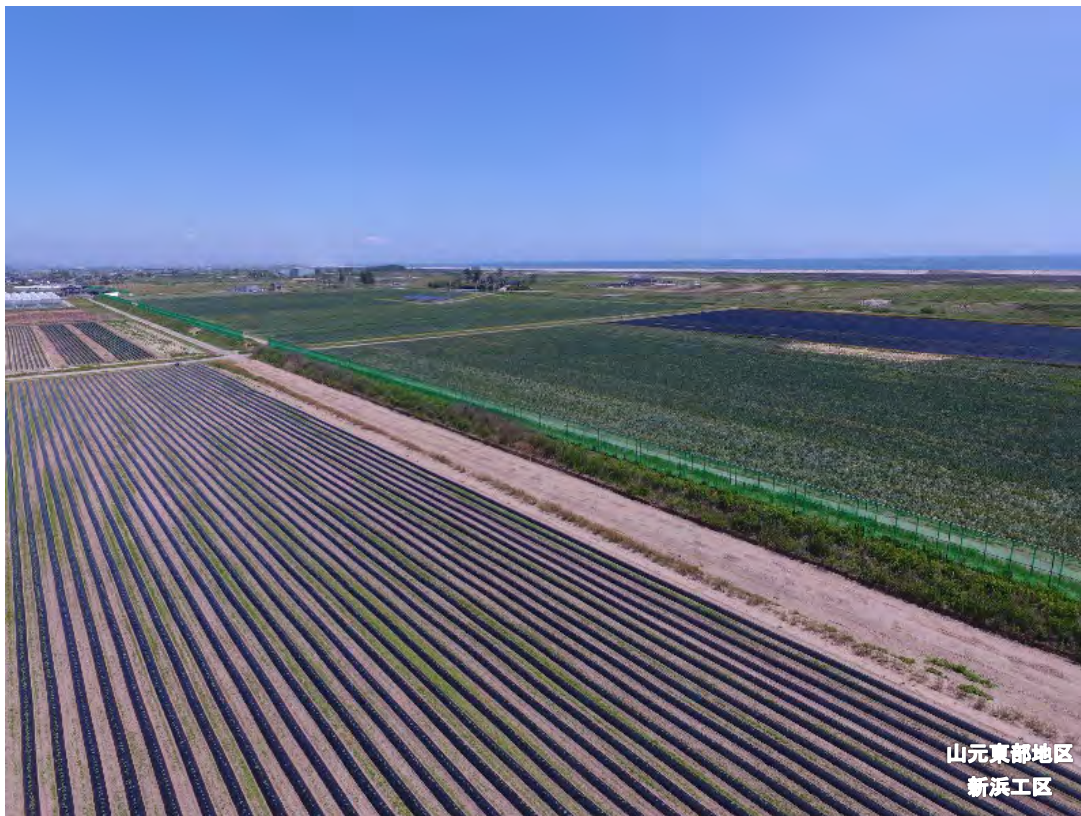


営農状況
(令和元年)

※出典：国土地理院 (<https://www.gsi.go.jp/top.html>) 撮影空中写真を加工

農山漁村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）

山元東部地区



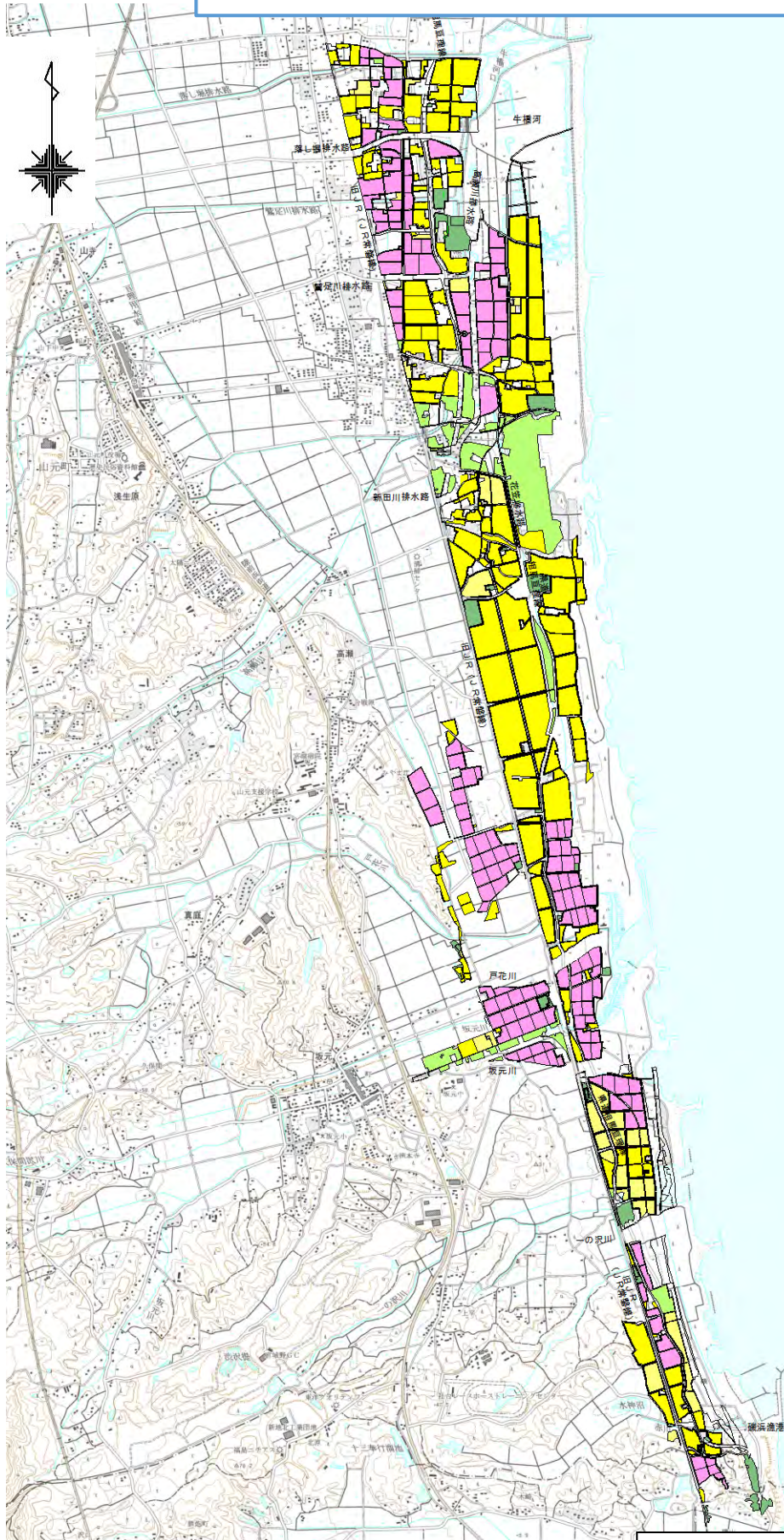
山元東部地区は山元町の東部沿岸地域に位置し、水田とイチゴ栽培のビニールハウスが立ち並ぶ地域でしたが、東日本大震災の津波により壊滅的な被害を受け、農家自身も自宅や農機具が流出したため、離農希望者が増え地域農業の担い手確保が大きな課題となりました。

このような状況において農山漁村地域復興基盤総合整備事業の実施に当たっては、農家と何度も話し合い、地域農業の復興や被災した農地の効率的利用と生産性の向上を図るため、農地を大区画化・汎用化するとともに、点在していた畑地を集約して大規模な畑団地を造成するなど、経営の大規模化・高付加価値化に取り組む経営体を育成・誘致する事業計画を作成しました。

また、本地区は住宅と農地が混在する地域でしたが、震災後ほぼ全域が第1種災害危険区域（居住用の建物の建築が禁止される）に指定され、防災集団移転事業や防災緑地公園整備さらに県道の嵩上げ等による多重防御対策を実現するための、新たな土地利用が必要となりました。このため事業計画において、防災集団移転事業による住宅移転跡地を地区に編入し、土地改良換地制度を活用して再配置することとし、町の復興整備計画の実現に貢献しました。区画整理工事は平成26年度から始まり、平成30年には全ての農地で営農が可能になりましたが、宅地を農地に整備した箇所などで、思わぬ石礫や排水不良などの判明、換地計画の策定に時間を要し、事業完了は令和5年3月になりました。

現在、当地区の農業は、水稻に加え大規模な畑において複数の農業法人がネギやタマネギ、サツマイモ、トマト、イチゴのほか果樹、芝生などを生産しており、収益性の高い大規模畑作団地として今後の発展が期待されています。

山元東部地区計画一般平面図



凡 例	
項 目	記 号
地区界	-----
水 田	
畑	
非農用地(公共)	
非農用地(民間)	

承認番号 平 27 情使, 第 49-GISMAP34854 号



1. 事業実施内容

I. 実施概要

事業名	農山漁村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）
地区名（所在地）	山元東部地区（山元町）
事業主体	宮城県
関係土地改良区	亘理土地改良区
受益面積／地区面積	417.3ha／612.9ha
総事業費	19,467百万円
事業期間	平成25年度～令和4年度

II. 主要工事内容

工 種	数 量	事 業 内 容
区画整理工	417.3ha	水田 A=150.1ha、畑地 A=267.2ha
用水路工	28,351m	パイプライン(塩ビ管φ100～450mm)
揚水機場工	7か所	渦巻ポンプ（φ125～250mm N=14機）
排水路工	73,386m	幹線排水路(鋼矢板水路、HF H900×B1700～2200)ほか 支線・小排水路、承水路(HF H300～1500×B300～2200) ほか
道路工	76,997m	支線道路B=4.0～5.0m、耕作道路B=3.0～4.0m
暗渠排水工	126.5ha	FOEASシステム
客土工	263.4ha	

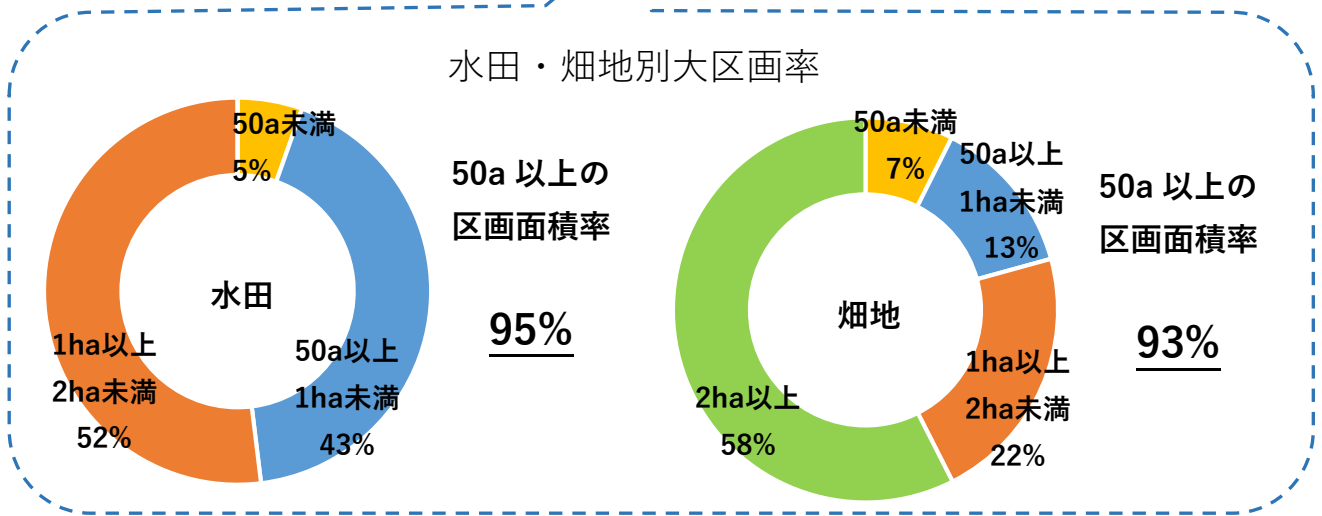
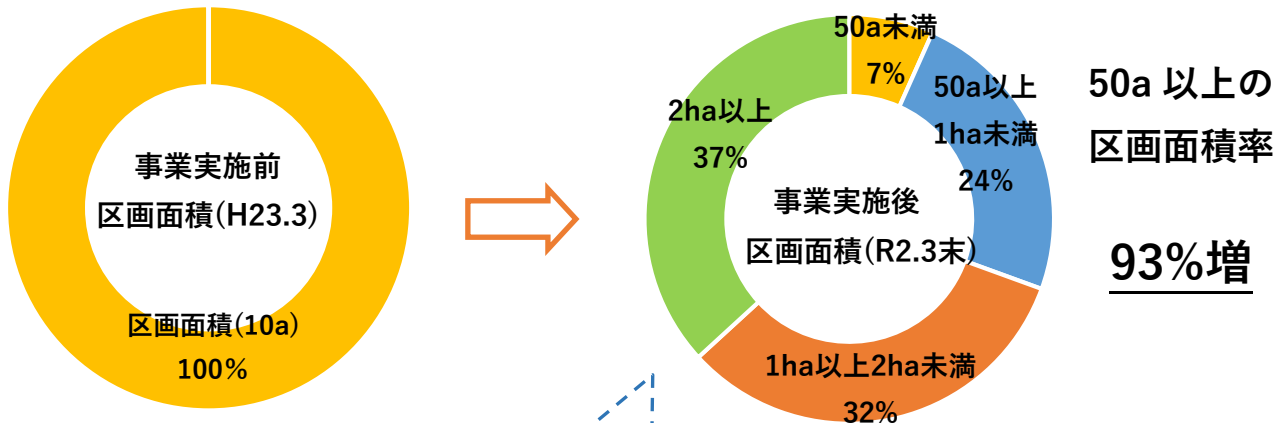
III. 年度別事業費・営農再開状況

項 目	合 計	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2	R3	R4
測量設計	一式										
区画整理	417.3ha		29ha	192.9ha	162.9ha	31.3ha	1.2ha				
付帯工事	一式										
換地	一式										
営農再開	417.3ha			7.1ha	88.5ha	232.9ha	88.8ha				
事業費 (百万円)	19,467	85	302	2,499	7,951	4,962	1,215	973	1,480		

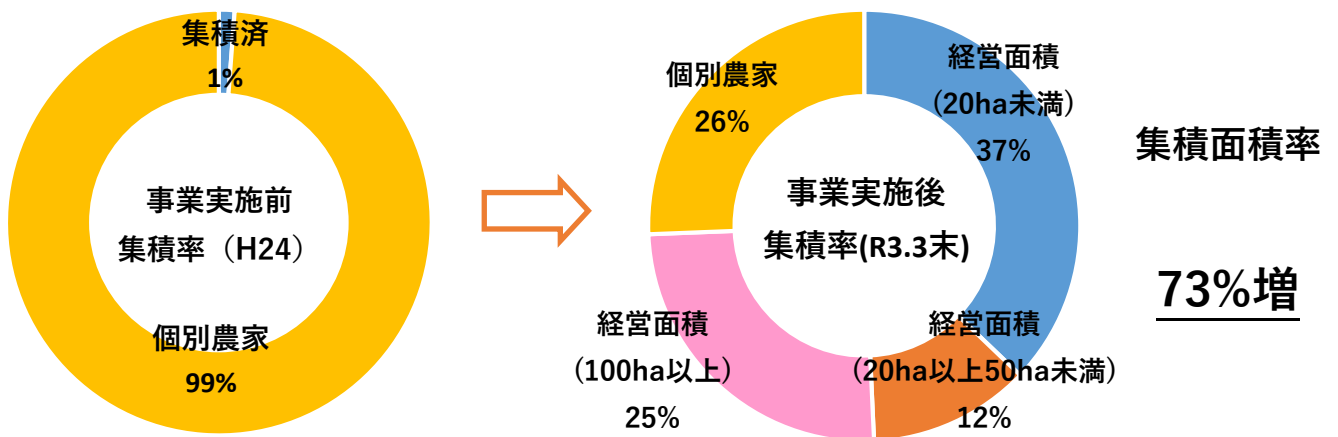
※R3、R4 は繰越予算により実施

2. 大区画化と農地集積

I. 農地（水田・畑地）の大区画化



II. 農地集積状況



III. 東日本大震災後に設立された農業生産法人

(株)やまもとファームみらい野、みやまアグリフーズ(株)、農業組合法人いそはま、山元いちご農園(株)、東日本復興芝生生産事業(株)、(株)GRA、(株)畑楽

IV.新たな大規模畑作経営

山元東部地区では、受益面積のうち畑地が64%を占めており、大規模畑作経営を行っている。

県では、平成26年度に「巨理・山元地域農地整備事業プロジェクトチーム」を編成し、畑地地権者組合の設立、公募基準の作成、参入企業情報等の支援を実施し、現在は7経営団体がねぎ、玉ねぎ、さつまいも等の露地栽培や芝生などの大規模営農に取り組んでいる。

[令和5年2月時点]

経営体名	計画面積 (ha)	営農品目
① 農地所有適格法人 A	26.9	【露】芝生
② 農地所有適格法人 B	2.8	【施】いちご
③ 農地所有適格法人 C	13.5	【露】ぶどう、エゴマ、大豆、クコ
④ 農地所有適格法人 D	129.7	【露】長ねぎ、玉ねぎ、甘藷、にんじん、大豆 【施】トマト、いちご
⑤ 農地所有適格法人 E	25.6	【露】甘藷、長ねぎ、アスパラガス
⑥ 農地所有適格法人 F	6.3	【露】甘藷、長ねぎ、大根、カボチャ、大豆、ブロッコリー、レタス、ナス
⑦ 農事組合法人 G	11.0	【露】長ねぎ、ブロッコリー、にんじん 【施】小ねぎ、つぼみ菜
⑧ 個別経営体（7経営体）	9.2	【露】葉物全般、大根 【施】いちご
計	225.0	



3.担い手の声

株式会社やまもとファームみらい野

私たちの地域は山元町東部に位置し、東日本大震災により、集落はもとより農地や農業用施設も壊滅的被害を受け、一部の集落や宅地跡は災害危険区域に指定されました。

今回、山元町東部で行われた農地整備は被災を受けた農地を復旧するだけでなく、災害危険区域に指定された集落や宅地跡を農地とする他に例を見ない整備でありました。農業法人やまもとファームみらい野は、農地の活用を図るべく営農の担い手为中心となり平成27年に設立され、農地整備の進捗に合わせ順次作付けを進めております。

私たちみらい野が担う農地は約120haと、4集落を跨ぐ広さであり、延長にすると南北方向に8km以上となります。この広大な農地で長ネギ・玉ネギ・さつまいも、人参を中心に生産に取り組んでいます。野菜の栽培は気象災害を受けるリスクや、環境のばらつきによる課題などありますが、農地整備による営農条件の改善の他、多くの方々の協力を受けまして、作業性・収穫量は年々向上しております。

また六次産業化への取り組みとして、さつまいもの生産から干し芋への加工、販売の一連の体系を構築しており、結果として私たちみらい野の干し芋が山元町の特産品としての評価をいただくまでに至り、うれしい限りであります。

今後も持続的営農を基本に終年雇用と経営体の安定に向け、施設園芸の拡充を図ると共に、各関係機関の協力をいただきながら生産振興に努めます。

4.工夫・苦勞したところ

①宅地跡地を一体的に整備することから、土壌が一樣ではなく石礫・雑物の混入や排水不良の問題が発生した。元々農地の土地についても、津波により水田表土の流出による地力不足、酸性硫酸塩土壌に由来する生育不良、砂地盤による畦畔の崩落、春先の強風による砂の飛散、地震による液状化により噴砂が生じるといった問題が発生した。また、隣接して行われる復旧復興事業との工程調整も必要であった。

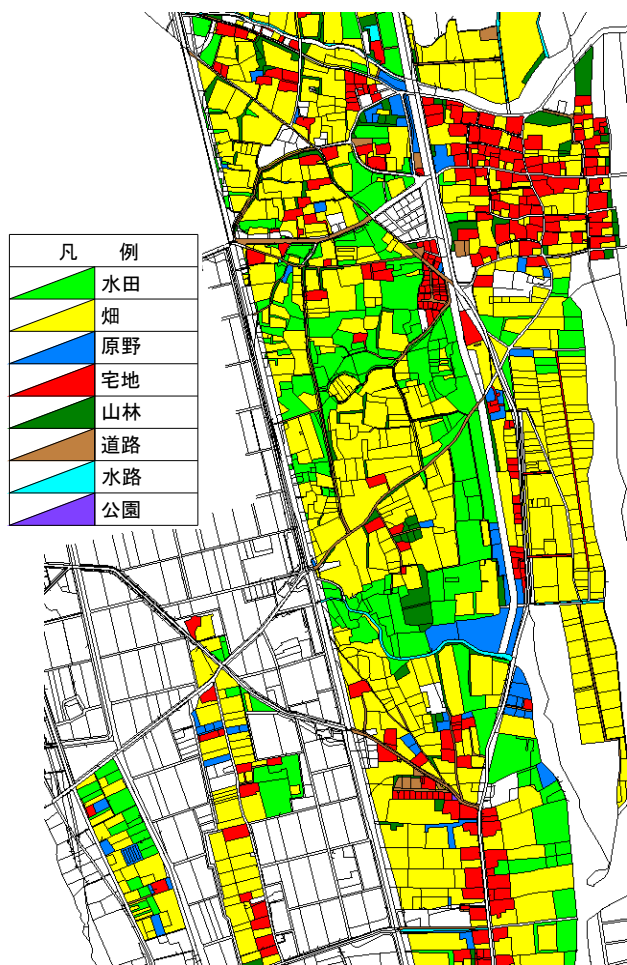


雑物除去状況

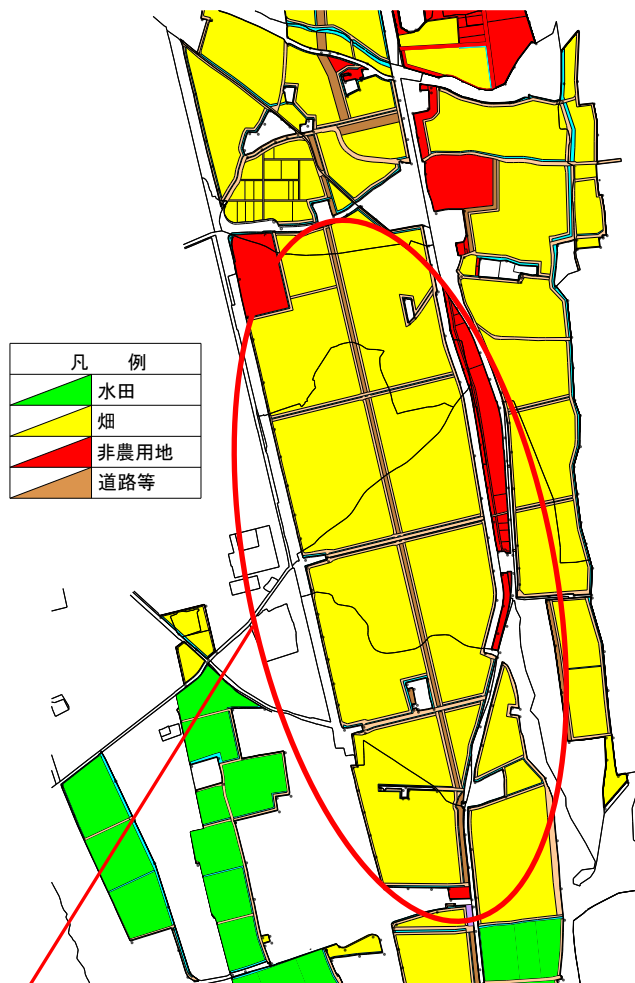
②亘理農業改良普及センターなどの関係機関とタッグを組み、ほ場の地力不足や生育障害の問題に対して対応を検討した。また、近隣の復旧復興工事との調整により、山砂以外の表土確保を行い、地力対策を実施した。春先の営農の際には、常時職員が改良区に常駐し、施工業者と現場対応を実施した。

5.土地利用の整序化

事業実施前（戸花・新浜工区）



事業実施後（戸花・新浜工区）



土地利用の整序化により、大規模（5～8ha/筆）の畑地を造成。最大面積は 8.3ha/筆。

6.写真

I. 被災状況・着手前



II. 復興状況



※出典：国土地理院 (<https://www.gsi.go.jp/top.html>) 撮影空中写真を加工

農山漁村地域復興基盤総合整備事業（復興基盤総合整備事業）

手樽地区

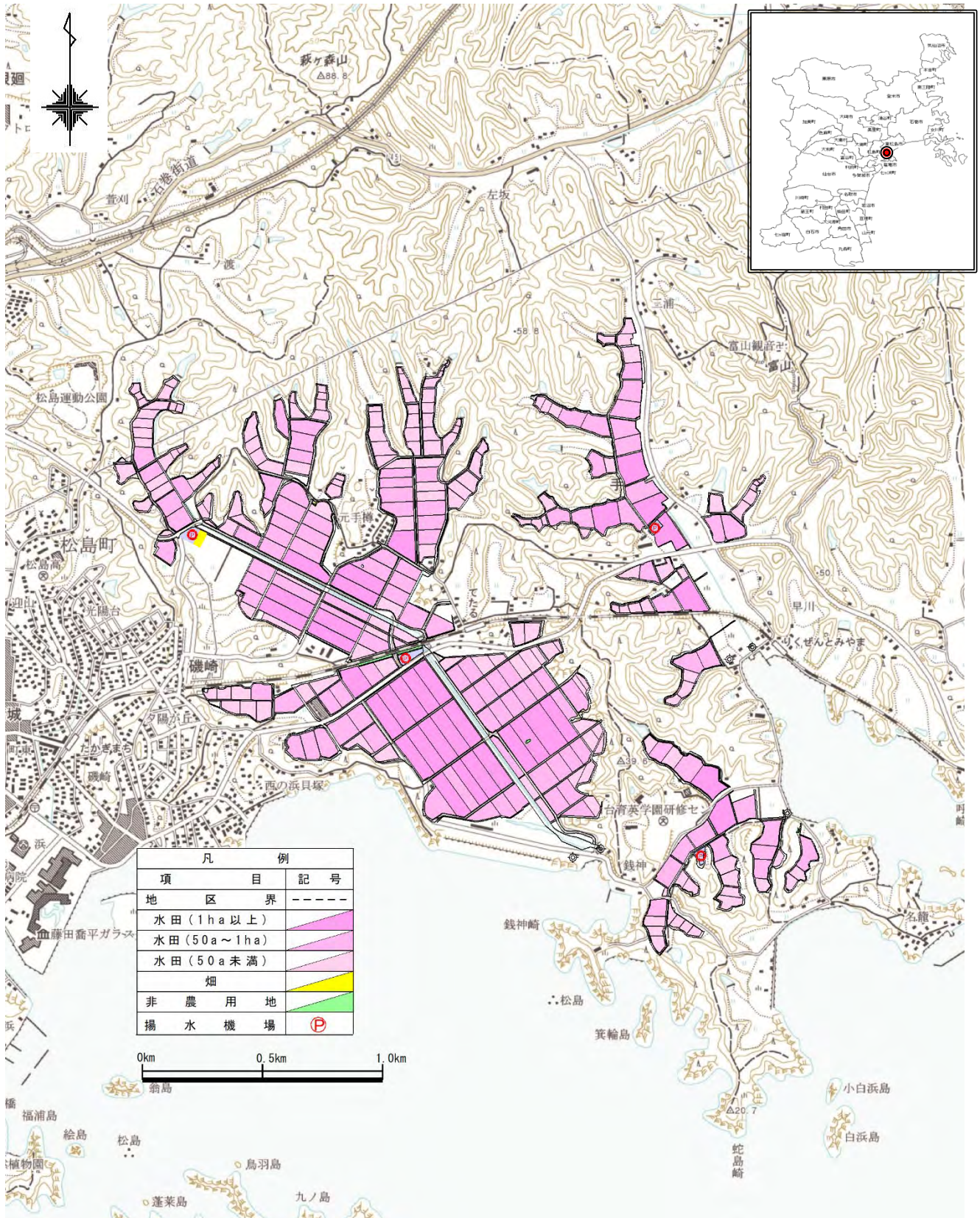


本地区は、宮城県中央部に位置しており、日本三景の一つ「松島」がある松島湾に面しています。平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、津波や地震の影響による地盤沈下により、大きな被害を受けました。

被災後は他の地区に比べ、早期に営農を再開したものの、元々干拓地であるため標高が低いほ場に対して、地盤沈下（0.2m～2.0m）が発生したことにより、慢性的な用水不足や排水不良、さらに地下水及び幹線排水路への塩水流入が発生し、水稻収量は減少してしまいました。

この対策として、用排水路及び機場整備、ほ場の大区画化や汎用化などを実施し、農地の面的な集約、農業経営の大規模化・高付加価値化を進め、安定的な営農が継続できる収益性の高い経営の実現を目指して事業を実施しました。

手樽地区計画一般平面図



承認番号 平 27 情使, 第 49-GISMAP34854 号

1.事業実施内容

I.実施概要

事業名	農山漁村地域復興基盤総合整備事業（復興基盤総合整備事業）
地区名（所在地）	手樽地区（松島町）
事業主体	宮城県
関係土地改良区	鶴田川沿岸土地改良区
受益面積／地区面積	160.7ha／201.8ha
総事業費	4,412百万円
事業期間	平成28年度～令和2年度

II.主要工事内容

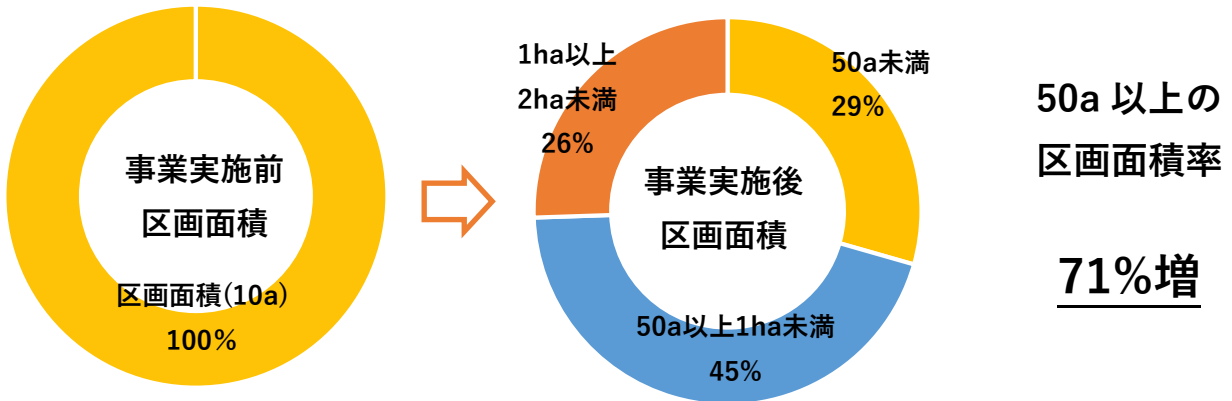
工種	数量	事業内容
区画整理工	160.7ha	水田 A=160.5ha、畑地 A=0.2ha
用水路工	32,936m	パイプライン（φ150～600mm）
揚水機場	4か所	水中ポンプ（φ150～250mm）N=8台
排水路工	29,434m	支線排水路（HF H500～1500×B500～1500） 小排水路、承水路（H500～700×B500～600、塩ビφ200～500mm）
道路工	24,406m	支線道路B=4.0～5.5m、耕作道路B=3.0～5.0m
暗渠排水工	160.5ha	地下かんがい方式
客土工	74.7ha	

III.年度別事業費・営農再開状況

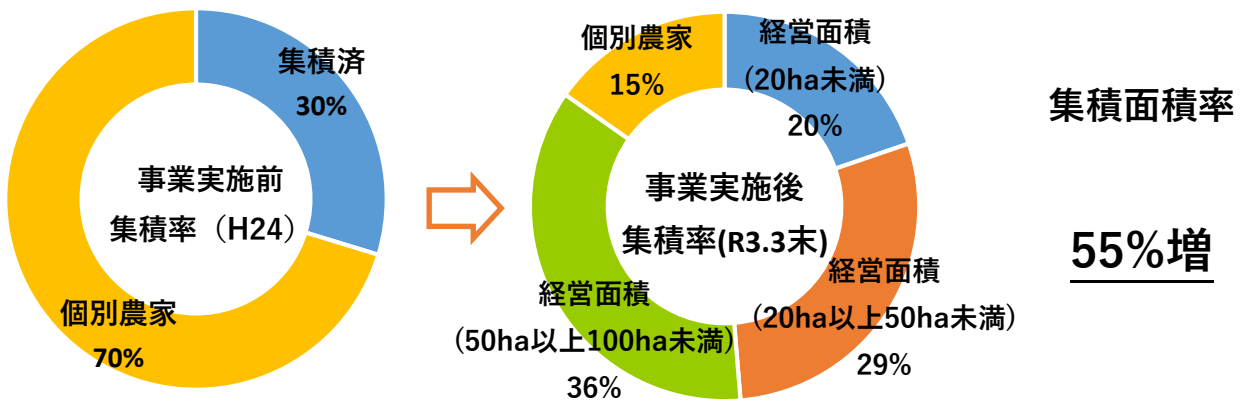
項目	合計	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2
測量設計	一式									
区画整理	160.7ha							160.7ha		
付帯工事	一式									
換地	一式									
営農再開	160.7ha							160.7ha		
事業費 (百万円)	4,412百万円					105	2,709	861	531	206

2.大区画化と農地集積

I.農地（水田）の大区画化



II.農地集積状況



3.担い手の声

F・F 藤崎代表取締役 高橋利徳氏
宮沢農産株式会社 代表取締役 宮沢 善克氏
鶴田川沿岸土地改良区 千葉理事長 林理事

本地区では、令和2年度現在（有）F・F磯崎、宮沢農産（株）の2法人で地区内の55%以上の営農を担っています。本事業の実施により農地の区画拡大、道水路が整備されたことと併せて、ドローン（UAV）を導入する等スマート農業に取り組んでおり、今後更なる規模拡大が見込まれています。

（有）F・F磯崎は、「農福連携」に組み、障害者雇用を積極的に行うことで、就業場所の確保につなげています。宮沢農産（株）は、水稻直播をはじめ規模を生かした低コスト農業の実践に取り組んでいます。鶴田川沿岸土地改良区は、世界農業遺産の一部である①「品井沼遊水地」巧みな水管理（2017年認定）②「高城川明治トンネル」（推奨土木遺産2007年）③世界で最も美しい松島湾（2013年）等、地の利を生かした地域資源を守り次代へ繋ぐ「元気な地域づくり」を目指しています。

本事業を契機として、地域の復旧・復興と更なる発展に向け、花火大会等の各種イベント開催など、松島町をはじめ関係団体が協力・連携して取り組んでいます。



4.工夫・苦労したところ

暗渠排水工事を実施したところ、一部のほ場において作物の生育に必要な有効土層である田面下30cm以内に岩礫が確認された。

当該箇所については、農地整備工事後の作付けにおいて、水稻の生育ムラ・不良が確認されていた箇所であった。岩礫は今後の稲作及び畑作転換時の営農に支障を来さないように除去を行った。



生育不良状況

5.写真

I. 被災状況・着手前



被災状況
(平成23年3月)



着手前(手樽工区)
(平成30年6月)

II. 復興状況



完成(名籾工区)
(令和元年6月)



完成(手樽工区)
(令和元年6月)

農山漁村地域復興基盤総合整備事業（復興基盤総合整備事業）

七ヶ浜地区



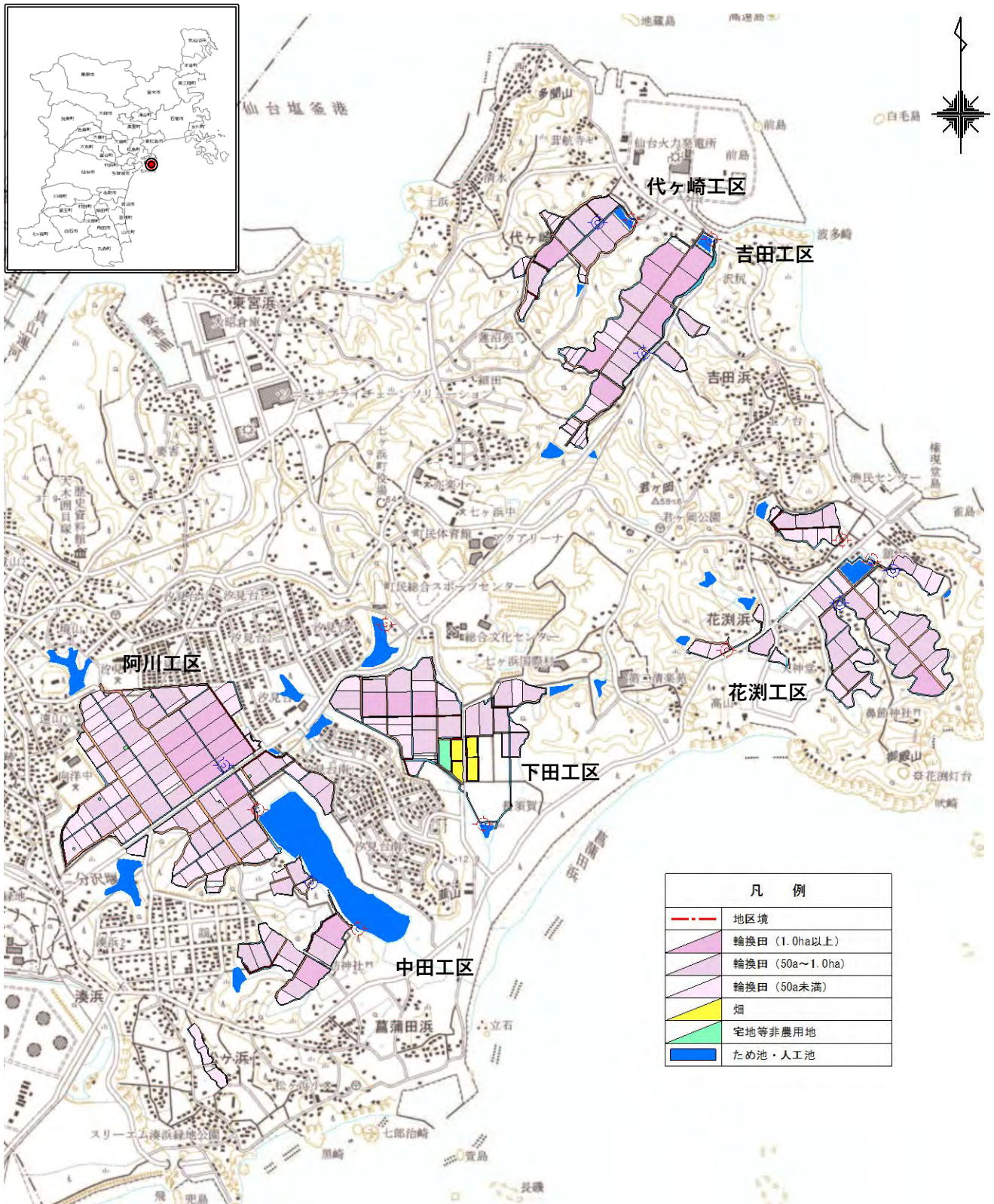
本地区は、日本三景「松島」の南縁にあたり、七ヶ浜町全域に散在する農地です。

東日本大震災の津波で被災し、集落は滅失、農機具、共同利用施設は損壊・流失してしまいました。また、ほ場への大量のがれき混入、土砂の堆積、塩害などにより営農困難に陥りました。さらに0.1m～1.2mの地盤沈下が生じ、用排水の再編が必須となりました。

営農再開に向けて、平成25年4月に「七ヶ浜町復興基盤総合整備事業調整委員会」が発足し、町を挙げて農業と農村の振興を強く推進してきました。農地復旧、区画整理や用排水路の工事の進捗と歩調を合わせ、平成27年1月には「農事組合法人ファーム七ヶ浜」が構成員14名で発足しました。

七ヶ浜農業の中心的な担い手として、大豆転作の営農再開に加え、営農再開を断念した農家の水稲受託にも取り組み、施設園芸も始めています。

七ヶ浜地区 計画一般平面図



承認番号 平 27 情使、第 49-GISMAP34854 号

1. 事業実施内容

I. 実施概要

事業名	農山漁村地域復興基盤総合整備事業（復興基盤総合整備事業）
地区名（所在地）	七ヶ浜地区（七ヶ浜町）
事業主体	宮城県
関係土地改良区	宮城郡七ヶ浜町七ヶ浜土地改良区
受益面積／地区面積	120.9ha／142.9ha
総事業費	3,262百万円
事業期間	平成25年度～令和4年度

II. 主要工事内容

工 種	数 量	事 業 内 容
区画整理工	120.9ha	水田 A=119.4ha、畑地 A=1.5ha
用水路工	11,296m	パイプライン（塩ビφ75～350mm）
揚水機場	1か所	水中ポンプ（φ100）N=1台
排水路工	17,878m	支線排水路（HF H600～1500×B600～1700） 小排水路、承水路（HF H300～1500×B300～3000）ほか
道路工	2,389m	支線道路B=4.0～5.0m、耕作道路B=3.0m
暗渠排水工	119.4ha	
客土工	25.7ha	

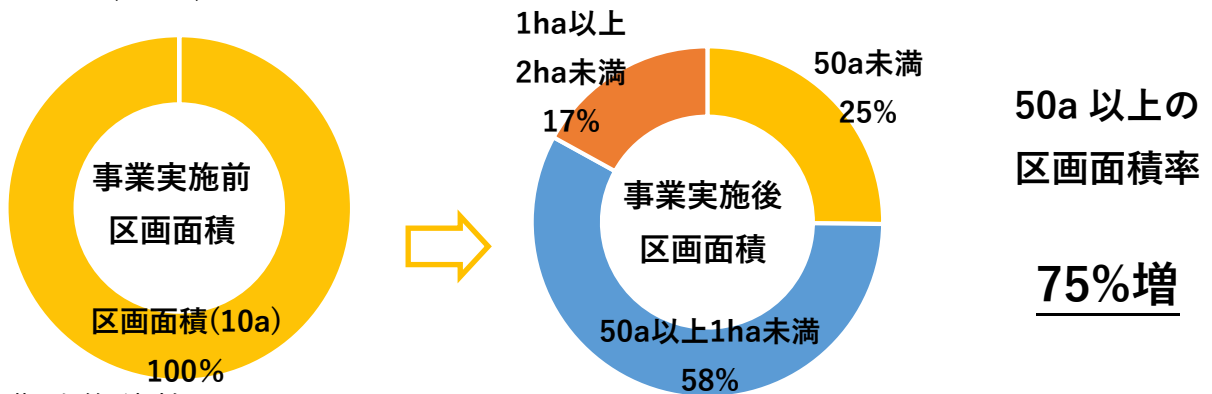
III. 年度別事業費・営農再開状況

項 目	合 計	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2	R3	R4
測量設計	一式											
区画整理	120.9ha			120.9ha								
付帯工事	一式											
換地	一式											
営農再開	120.9ha				27.8ha	93.1ha						
事業費 (百万円)	3,262		160	980	677	478	349	224	294	100		

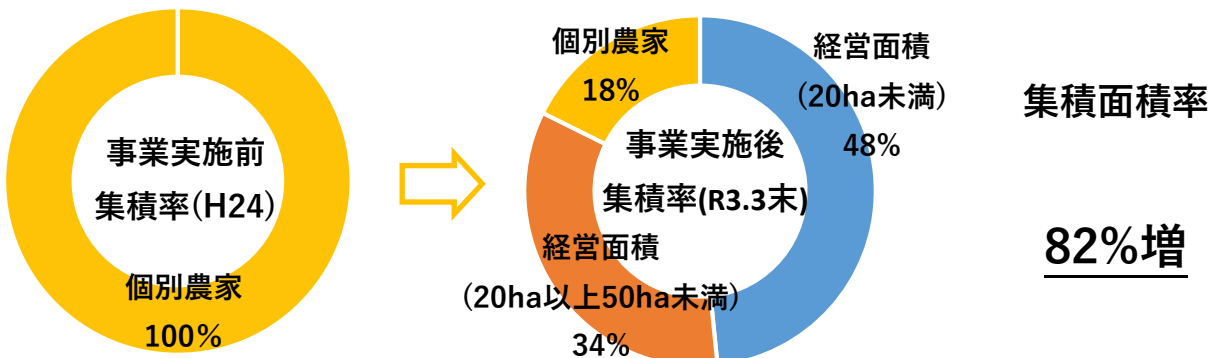
※R3、R4 は繰越予算により実施

2. 大区画化と農地集積

I. 農地（水田）の大区画化



II. 農地集積状況



III. 東日本大震災後に設立された農業生産法人 (農) ファーム七ヶ浜

3. 担い手の声

食糧の大切さを伝え、消費者と共に農業を育てる環境作りをしていきたい

農事組合法人ファーム七ヶ浜 代表理事 佐藤太郎 氏

前身は組合員3名でスタートさせた大豆転作組合であったが、昨年度は水稲26ha、大豆16haを作付けした。また、防災集団移転元地を集約した土地に建設されたハウスにて、8,000箱を育苗し、4,000箱を販売している。さらに、冬期間には、ちぢみ小松菜を栽培して市場に出荷し冬場の雇用を確保している。

東日本大震災では、町内のほとんどの農地が津波により壊滅的な被害を受けるとともに農業機械も流されたが、町やキリンビールからの支援を受けて、経営を再開することができた。今も思うのは、寒い日も暑い日も農地のがれきを拾ってくれたボランティアの皆さん（延べ2万人）への感謝の気持ちである。3年前位から被災以前の収量に回復しており、去年は全量が一等米で食味も良かった。ここまでこられたのは、多くの方々に支えてもらったおかげと思っている。

七ヶ浜地区は、昭和50年代に30a区画に整備しているが、事業により大区画が図られたことで一層作業効率が良くなり生産コストの低下とともに農地の集約に役立っている。また、排水が良くなったことで転作のローテーションもしやすくなった。

今後は、農業が持つ多面的機能を消費者と共有し、消費者が農業を育てる環境作りをしていきたい。食糧の大切さ伝え、農業をどのように守っていくか地域として考えられるようになっていくといい。後継者は課題であるが、今のうちから若者にも入ってもらって世代交代をスムーズに行っていきたい。意欲ある若者は大歓迎である。

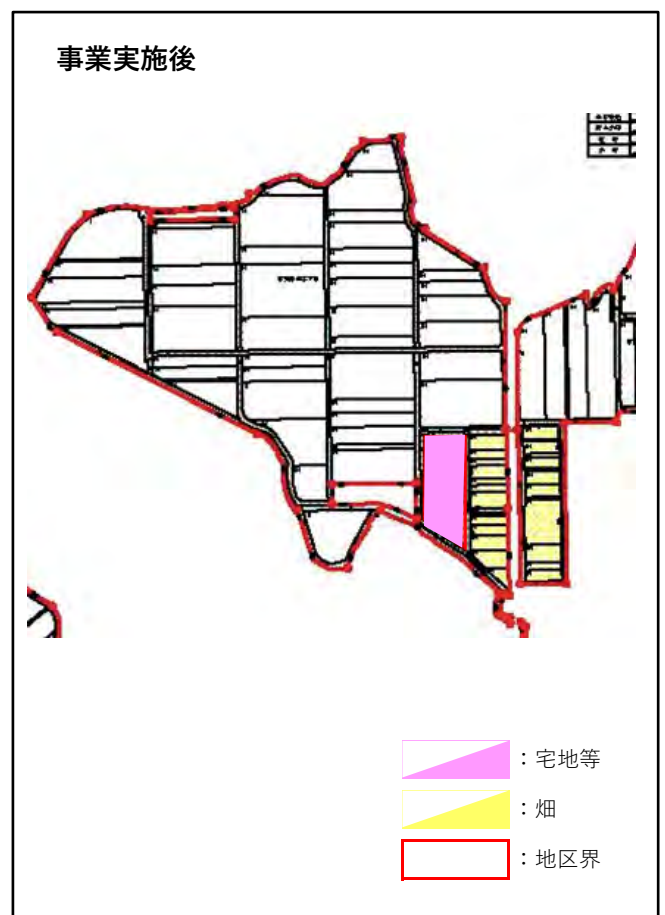
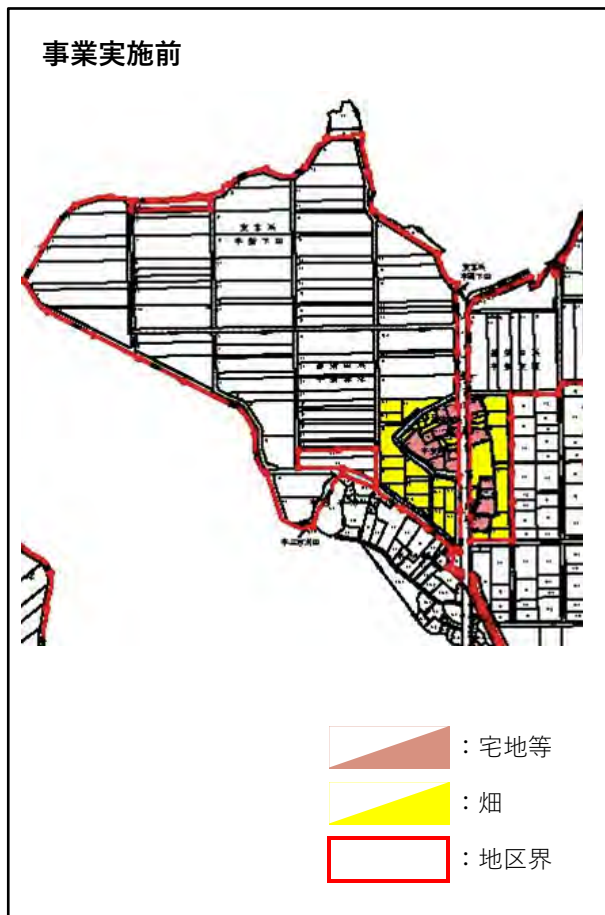
4.工夫・苦勞したところ

- ①農地には津波により多量の石礫等の混入が見られ、その除礫に多くの労力を要した。
- ②整序化エリア内の整備に当たり、宅地基礎等が多く残されており、残存物除去に多くの労力を要した。
- ③海が近く、水路内の水が潮位に影響を受けることから、塩水と真水の水位調整に苦慮した。
対策として、水位調整水門を設置し、水管理の軽減を図った。
- ④排水不良箇所が多数あり、疎水材として牡蠣殻を利用し、湧水処理対策を実施した。



5.土地利用の整序化

地区編入		非農用地の利用計画	
移転元地 (防集買取) A=0.57ha (21筆)		農業用施設用地として活用 A=0.57ha (1筆)	
合計	0.57ha (21筆)	合計	0.57ha (1筆)



6. 写真

I. 被災状況・着手前



II. 復興状況



※出典：国土地理院ウェブサイト (<https://www.gsi.go.jp/top.html>)